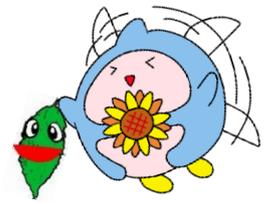
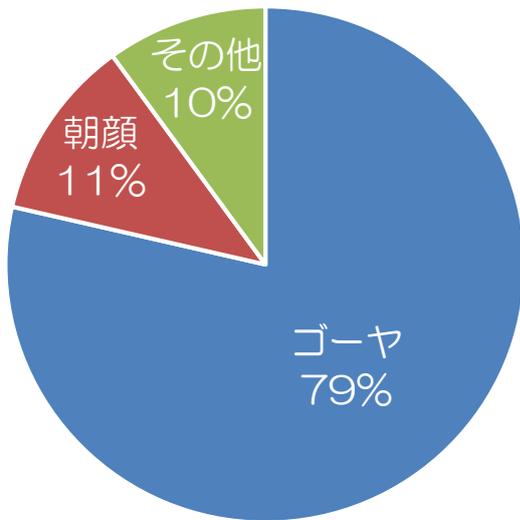


ふなわりくんの 広げよう！緑のカーテンの輪



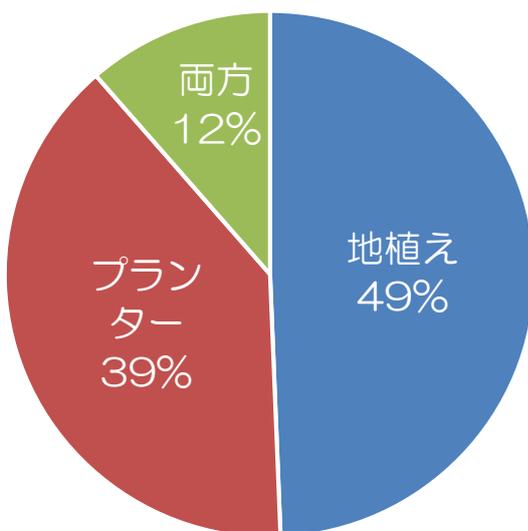
市内で緑のカーテンを育てられた市民 106 名、事業者・公共施設 55 か所より育成アンケートの提出がありましたので、ご紹介します。

1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？

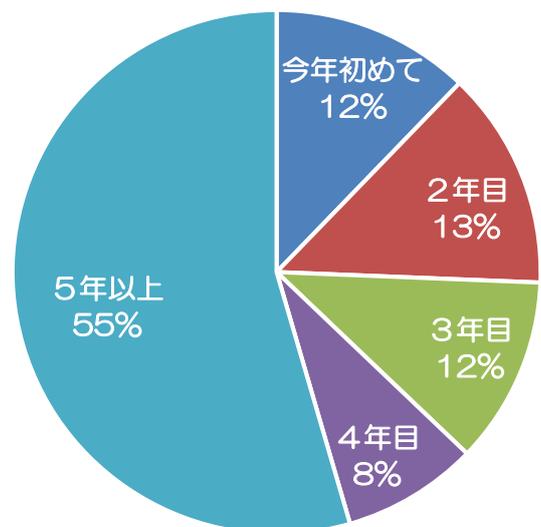


その他の回答としては、きゅうり、夕顔、テラスライム、ツルムラサキ、フウセンカズラ、スズメウリ、ハヤトウリ、スイカ、ヘチマなど、様々な種類の植物が使われていました。

2. どこに植えましたか？



3. 経験はどれくらい？



4. どれくらいの大きさ？

	幅の平均 (m)	高さの平均 (m)
市民	2.6 m	3.4 m
事業所・公共施設	6.6 m	4.7 m
全体	4.0 m	3.9 m

5. みんなの感想

緑のカーテンを育てた方の感想等を抜粋して紹介いたします。

<緑のカーテンの効果について>

- ・毎年5月初旬にゴーヤ苗を3本、客間の庭側に地植えし、成長も早く7月中旬には緑のカーテンで夕日も遮断して日中もクーラーが必要ない位涼風を満喫しています。
- ・1階のPTA室、保健室や2階の職員室が緑のカーテンのおかげで涼しくなり、冷房費が節約できた。

<ゴーヤ以外の植物を植えた方より>

- ・テラスライムを植えるようになって10年余りになります。テラスライムの明るいグリーンは視線を遮ると同時に部屋の中を明るくしてくれますので、仕事もはかどります。5月に植えた時から11月末までこのライムグリーンは変わりません。芋科の植物で、晩秋には芋も収穫できます。
- ・今年は、ゴーヤ3株とスズメウリ1株植えてみました。梅雨が長かったせいかゴーヤはあまり実を付けず小さめでしたが、スズメウリの「緑→赤」に変わる小さな実に癒されました。スズメウリの葉はゴーヤ以上に成育が良かったです。

<コミュニケーションツールとして>

- ・カーテンの緑が暑い陽ざしをカットして涼しい気持ちにさせてくれました。ゴーヤの葉の形が私はとても好きなので実がなくても嬉しいです。色々レシピも出てきて近所の方との交流を深めてくれるゴーヤが夏の楽しみになってきました。

・巨大なゴーヤができ、お裾分けして喜ばれています。自分で育てると完熟させられるのいいところだと思います。

<子供たちの教育として>

・家族みんなでゴーヤを育てるために協力できてうれしかった。カーテンが立派に育ちとても感動した。これからもこの活動を続けていきたい。子供にとっても植物を自分で育てていくことは大切なので多くのことを学ぶことができた。

・緑のカーテンを育成したことで、涼しさを感じることができました。また、ゴーヤが成長していく過程を子供たちと観察でき、理科の授業において子供たちの理解の助けとなりました。

<育成する際の工夫について>

・苗床は鶏糞化学肥料石灰で作り、10日後に移植。ゴーヤの先端がネットの縄目を交互にくぐるよう手助けした。全長23cm太さ6cmが最大で中小30個を収穫できた。

・毎年育成して今までと比較して良かったと思うのは土壌作り苦土石灰、堆肥、腐葉土を元肥とし耕し植えたこと20日位毎に化成肥料を追肥したことと思う。長雨が成長の時期だったのが良かったのかなと考えますと水やりの大切さを実感します。

<うまく育成できなかつた方より>

・今回初めて緑のカーテンに挑戦しましたが、追肥を忘れたり、摘芯のタイミングを逃したり、天候にも恵まれなかつたこともあり、うまく育てることが出来ませんでした。最初は水やりさえ忘れずにやっておけば問題ないと思っていたので緑のカーテンの難しさを痛感しました。

<その他>

・今年は雨続きの日が多かったせいか、はじめは実が付かなかつた。暑くなって沢山出来るようになった。最近特に気候変動が問題になっている。私達ひとりひとりが少しでも二酸化炭素の排出に目を向けて小さなことから取り組んで生活することが大切だと思っています。

・「大きくなったね!」「うちのはもっと実がついたぞ!」「あそこのはもう採らなきゃ!」毎日のように通りがかる施設来館者にお声掛けを頂いています。法典児童ホームのゴーヤの成長とともに「緑のカーテンの輪」が広がると子供から高齢者まで訪れる西部福祉会館では「にぎやかな笑顔の輪」が広がりました。

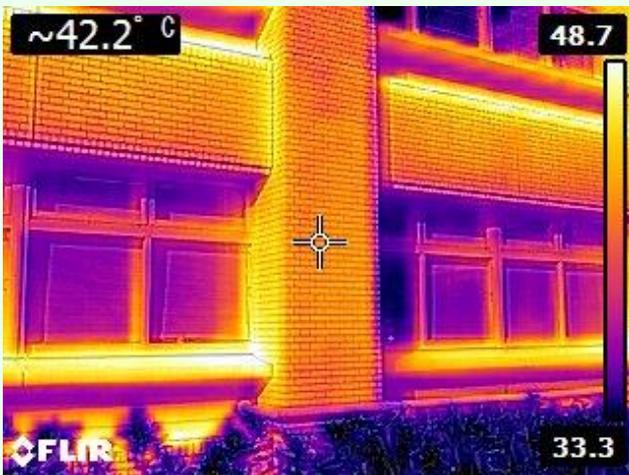
緑のカーテンコラム

～どうして植物でカーテンをつくるの？～

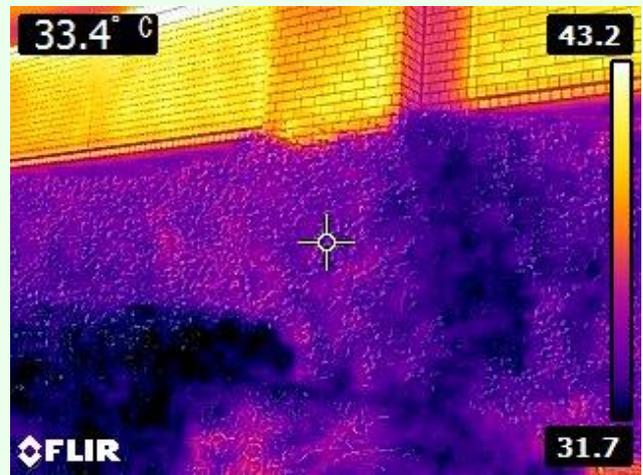
どうして緑のカーテンが推奨されるのでしょうか。日差しを遮る目的なら、すだれでもいいのではと思ったことはないでしょうか。

植物でカーテンを作ることの理由の1つに、「蒸散作用」があります。主に植物の葉にある気孔から大気中に水蒸気を放出する現象で、その際に気化熱により熱が奪われます。このことにより緑のカーテンは涼しい状態を保つのです。

次の写真は、緑のカーテンをサーモグラフィカメラで撮影したものです。



本庁舎南側の壁面
(表面温度 42.2°C)



本庁舎南側の緑のカーテン
(表面温度 33.4°C)

このように、緑のカーテンの表面温度は低く保たれることが分かります。

他にも育成アンケートによると、緑に癒された、近所とのコミュニケーションが増えたなど、心理的な効果も期待できます。自由意見欄には、ゴーヤを収穫しおいしく食べることができて元気になった、子供たちと一緒に植物の成長を考えるきっかけとなったなど、様々な効果が報告されました。

